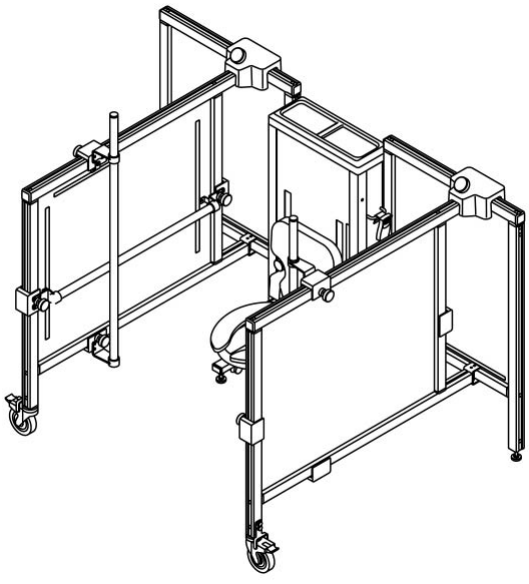
取扱説明書

ADL
シミュレーションシステム

AD－100

AD－110L／R／U
AD－120
AD－130
AD－140



- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
  正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 「取扱説明書」は
  - 1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
  - 1部を保存用として、大切に保管してください。

SAKAImed

06－042⑤MY

もくじ

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

構成及び各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

ご使用になる前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 移動・設置(自立用金具を使用した場合)・・・・・・・・・・・・・・ 12
- 電源 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 壁面ユニットL，Rの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 壁面ユニットUの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 昇降ユニットの操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 壁面ユニットL，Rの操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 壁面ユニットUの操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 洗面ユニットの脱着と操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- トイレユニットの脱着と操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 立上り椅子ユニットの脱着と操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

お手入れの仕方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

このようなときには ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

機器の保守・点検について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

保証とアフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

仕 様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

用途

本システムは、在宅復帰のために、洗面や排泄、立上り等の日常生活動作(ADL)のトレーニング、及び家屋改造等のためのシミュレーションを行うための装置です。

特長

壁面ユニットと組み合せて各家庭にできるだけ近い環境を再現

現実に即した種々の日常生活動作を身につけることができます。

本体に各ユニットを取り付けるだけの簡単操作

1台の昇降ユニットに洗面、トイレ、立上り椅子ユニット等、各種アタッチメントを取り付けて多種多様なADLトレーニングやシミュレーションを行うことが可能です。

スペースの無駄を省いたコンパクトなADLトレーニングシステム

操作性の高い昇降ユニットの高さ調節

昇降ユニットの高さ調節機構は電動式のため、スムーズな昇降、停止が可能です。

リモコンスイッチによる高さの調節操作は、患者及び介助者でも容易に操作できます。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源・設置

⚠警告

電源コード及び、プラグの改造等は、絶対に行わない
感電の恐れがあります。

ぬれた手でプラグの抜き差しはしない
感電の恐れがあります。

サービスマン以外は、アンカーの施工、取り外し作業を行わない
転倒等の事故の恐れがあります。

⚠注意

電源電圧は AC100Ｖ±5%の範囲内で使用する
範囲外の場合には機器の故障及び誤動作の原因になります。

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く
コードを引っ張るとコードが傷み、感電や火災の原因になります。

部屋の中央で使用する(アンカーの施工をしていない)場合は注意
壁面ユニットＬとＲが取り付いているか、または自立用金具が取り付けてあるか、必ず確認してください。転倒の恐れがあります。

移動は、ゆっくり行う
周囲の障害物や床面の段差などに注意してください。機体の転倒や破損の恐れがあります。

昇降ユニットの移動後は、必ずアジャスターを調節し、固定する
機体の転倒や破損の恐れがあります。

床に勾配のある場所では使用しない
機体が転倒する恐れがあります。

昇降ユニットに寄りかかったり、倒れこんだりしない
機体の転倒や破損の恐れがあります。

本体を支えるときは、必ず本体の４つのアジャスターを使用する
自立用金具のアジャスターで本体の重量を支えると、機体の転倒や破損の恐れがあります。

壁面ユニット取付/操作

⚠ 警告

取付ノブ４か所で、確実に固定されていることを確認
昇降ユニットに固定されていないと、転倒や破損の恐れがあります。

取付後、アジャスターは必ずロックナットで固定
固定されていないと、ユニットが動いてしまう恐れがあります。

⚠ 注意

壁面に寄りかかったり、手すりにぶら下がらない
転倒や破損の恐れがあります。

可動壁面や手すりが確実に固定されていることを確認
固定されていないと急に動き危険です。

可動壁面固定ノブ及び手すり固定ノブを緩める際に無理に回しすぎない
抜け止め構造になっていますので、回しすぎると固定ノブが破損します。

手すりには 50 kg以上の力を掛けない
ぶら下がったりしないでください。転倒や破損する恐れがあります。

横手すりの手すり固定ノブを緩めるときは、必ず手すりを支える
支えが無いと手すりが落下し破損する恐れがあります。

移動は、ゆっくり行う
周囲の障害物や床面の段差などに注意してください。機体の転倒や破損の恐れがあります。

手摺や可動壁面の動き及びその固定時に異常がある場合は絶対に使用しない
外れる恐れがあります。

可動壁面のキャスターが、キャスターガイドで確実に固定されていることを確認
キャスターが回転して壁面の動きが悪くなる恐れがあります。

移動の前に、必ず壁面の移動方向や周囲を確認
障害物や人がいないことを確認してから行ってください。

必ずアジャスターで壁面ユニットと昇降ユニットの取付位置を合わせてから取り付ける
無理に取り付けようとすると、機体が破損する恐れがあります。

可動壁面固定ノブとキャスターのロックを確認
可動壁面を移動したら必ず固定してください。急に動き危険です。

各部の操作

⚠ 警告

患者が便座や座面に着座した状態で操作しない
転倒や挟み込みなどの恐れがあります。

ワゴンや載せたユニット（トイレ/立上り椅子）に乗ったり重量物を載せない
転倒してけがをする恐れがあります。

⚠ 注意

リモコンを落としたり水を掛けたりしない
機械の誤動作または故障の原因になります。

洗面ユニットをワゴンに載せた状態で使用しない
洗面ユニットが落下したり、ワゴンが転倒する恐れがあります。

各ユニット（洗面/トイレ/立上り椅子）が載っている状態でワゴンを持ち上げたり傾けたりしない
ユニットが落下する恐れがあります。

ユニット（トイレ/立上り椅子）をワゴンに載せたときは、必ず固定ベルトで固定
固定されていないと収納時や移動中にユニットが落下したり、ワゴンか転倒する恐れがあります。

ワゴンを置く場所に注意
床に勾配のある場所や、周囲に危険物がある場所には置かないようにしてください。転倒する恐れがあります。

ワゴンを移動させるときはゆっくり行う
転倒する恐れがあります。

昇降の前に、周囲に障害物がないことを確認
特に下降させる際は、アタッチメントや各ユニット（洗面/トイレ/立上り椅子）の下側に身体の一部又は障害物等を挟み込まないように十分注意してください。

昇降の切換は、必ず動作が停止したことを確認してから行う
動作中に行うと、機械の故障や誤動作の原因になります。

洗面ユニットをワゴンに載せたときは、ガタの無い安定した状態か確認
ユニットが落下したり、ワゴンが転倒する恐れがあります。

ユニットをワゴンに載せるときは、ワゴンの前後の向きに注意
固定ノブがワゴンのパイプに干渉して安定した状態で載らなくなります。

ワゴンを間違えないように注意
トイレユニット用ワゴンと立上り椅子ユニット用ワゴンを取り違えないよう注意してください。

取り付け・取り外しや運搬時の取り扱いに注意

•洗面器部分/•トイレユニットのフレーム/
•座面（座面の角度を0°にする）
各部を両手でしっかり持って行ってください。落下による事故や機体の破損の恐れがあります。

洗面器によりかかったり、10kg 以上の力をかけない

機体の破損する恐れがあります。

便
座
や

座面角度調整レバーを無理に押したり引いたりしない

可動範囲以上に動かすと、破損する恐れがあります。

ユニットの取り付けを確認

•洗面ユニット/•トイレユニット/
•立上り椅子ユニット
各ユニットの取付ピンが昇降ユニットの取付穴に確実に引っ掛かっていることを確認し、必ず固定ノブで固定してください。使用中に落下する恐れがあります。

洗面器に水や湯をいれない

本製品は実際に水を使用したトレーニングのものではありませんので、水漏れが発生する恐れがあります。

座る前に必ず、ロックを確認

座面の角度が変って、患者が落下する恐れがあります。

座面角度調整レバーを押し下げるときは必ず座面を支えて行う

座面が落下して挟み込み等の恐れがあります。

使用上の注意

⚠ 注意

本製品を用途以外の目的で使用しない

故障の原因や事故の恐れがあります。

清掃時にシンナー，ベンジンなどで拭かない

塗装及び製品表面を侵す恐れがあるので使用しないでください。

クレンザー等の研磨剤や酸性洗剤などは使用しない

みがき粉等の粒子を含んだ洗剤やナイロンタワシ，ブラシ等は塗装等の表面を傷つけます。

機器の分解、改造はしない

故障の原因や事故につながる恐れがあります。

医師や指導者の指示に従ってトレーニングを行う

指示以外のトレーニングはけがや事故の恐れがあります。

使用後は、必ず本体の電源プラグを抜く

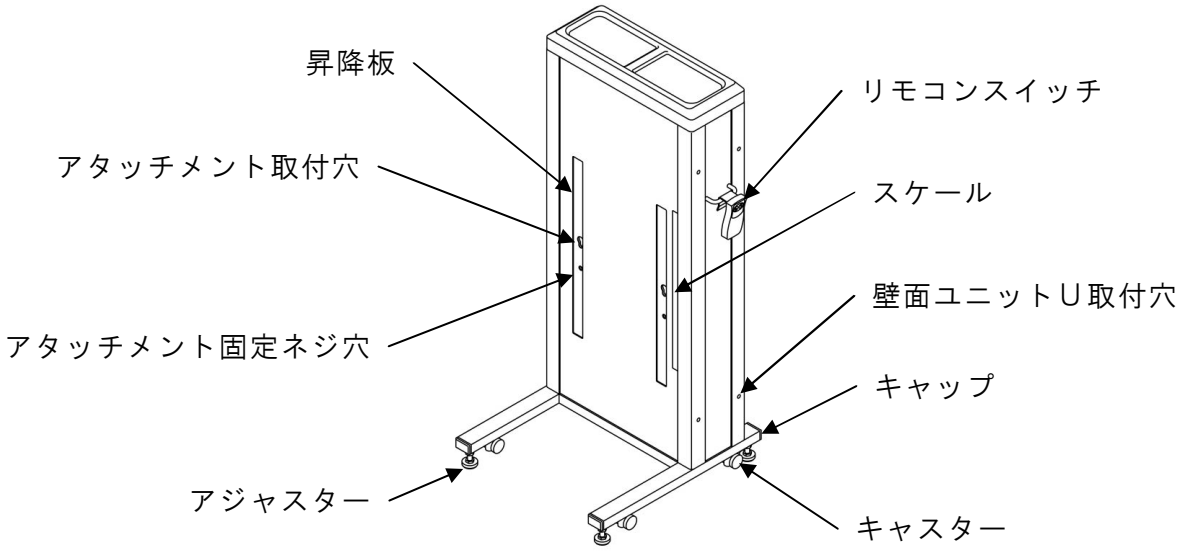
事故を防止します。

構成及び各部の名称

本システムは、以下の 11 のユニットより構成され、その中から用途に応じた必要なものを組合わせてお買い上げいただくことができます。

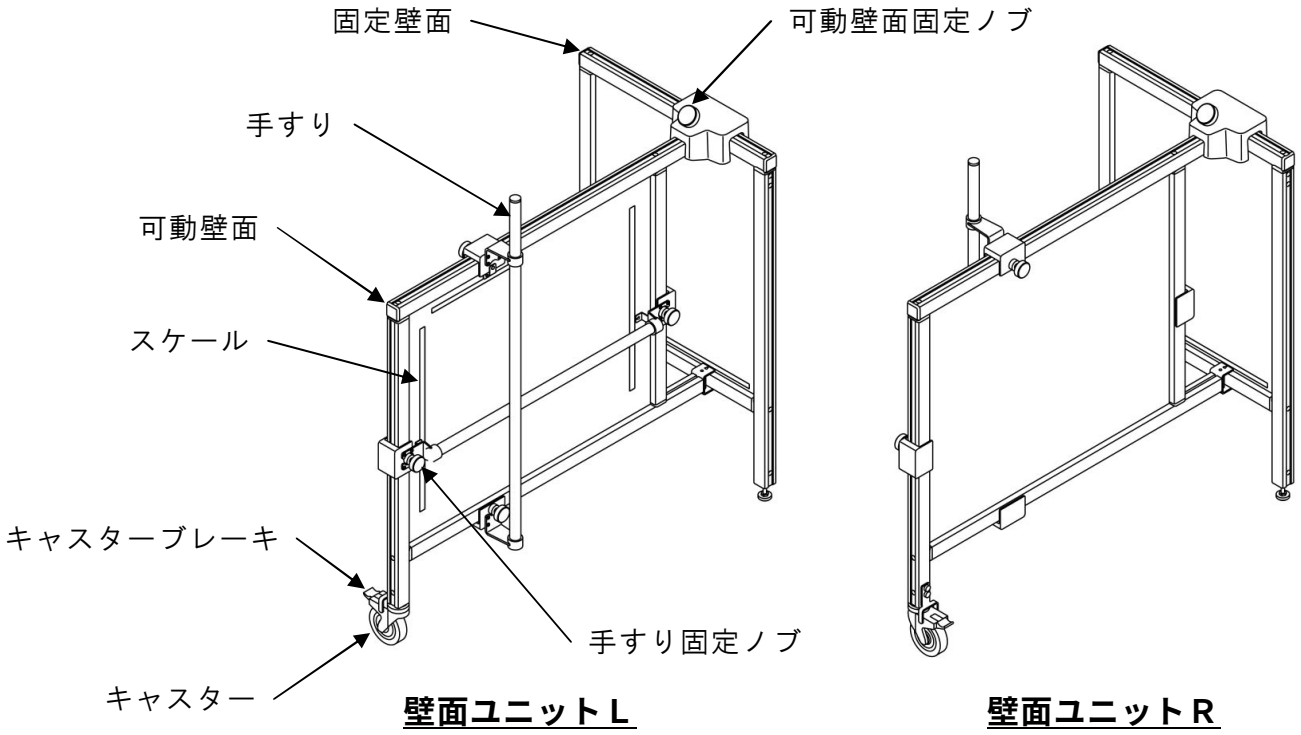
- **昇降ユニット(AD-100)**

  本システムの基本となるユニットで、洗面、トイレ、立上り椅子ユニットを取り付けて昇降させることができます。リモコンスイッチにより、誰にでも簡単に操作できます。



- **壁面ユニットＬ，Ｒ(AD-110L,R)**

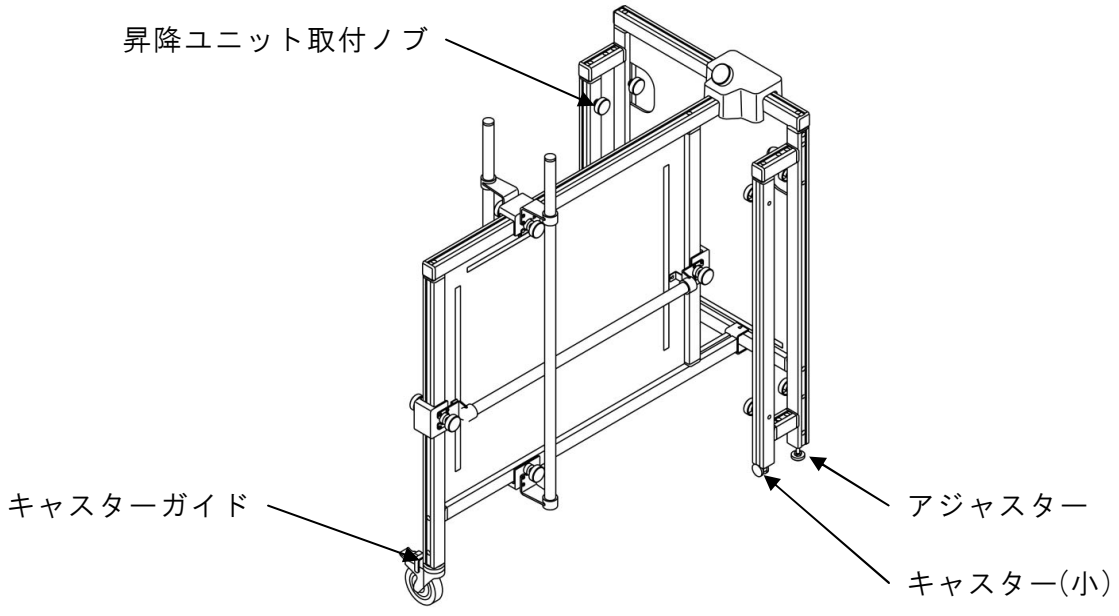
　昇降ユニットの左右の側面にユニットを取り付け、環境を設定することができます。



壁面ユニットＬ　　**壁面ユニットＲ**

- **壁面ユニットＵ(AD-110U)**

　昇降ユニットの左右どちらの側面にも取り付けることができ、１ユニットで壁面ユニットＬまたはＲの機能を持ち合わせた、ユニバーサルタイプの壁面ユニットです。

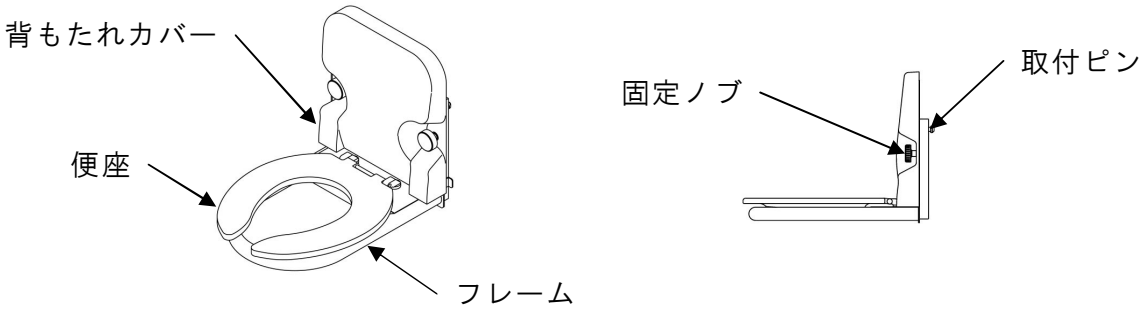


- **洗面ユニット(AD-120)**

  昇降ユニットに取り付け、洗面動作のトレーニングを行います。
  交換可能なシングルレバーが付属しています。

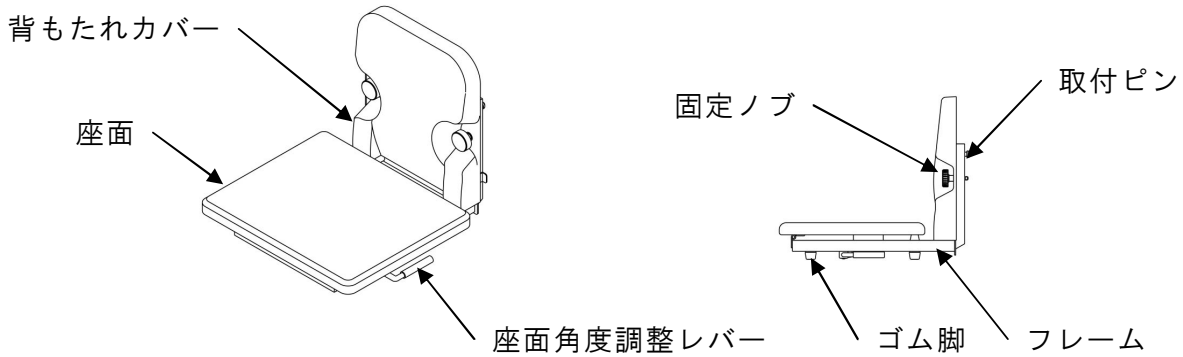
- **トイレユニット(AD-130)**

  昇降ユニットに取り付け、トイレ動作のトレーニングを行います。



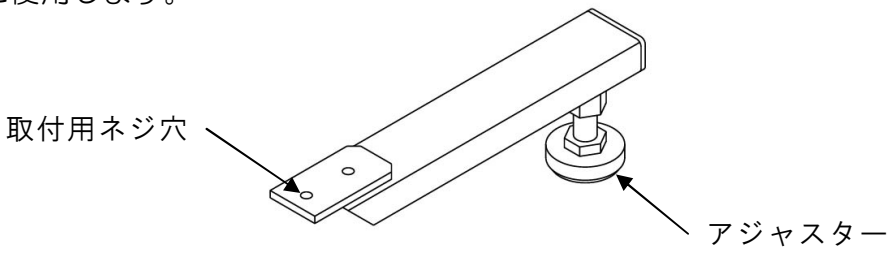
- **立上り椅子ユニット(AD-140)**

  昇降ユニットに取り付け、椅子やベッドサイドでの立ち上り動作のトレーニングを行います。座面の角度を 3 段階に調節することができます。



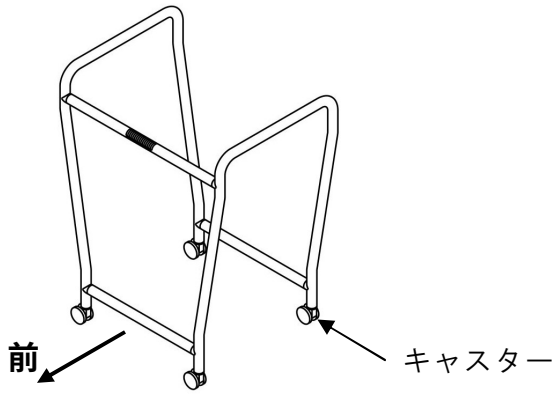
- **自立用金具(AD-105)**

　昇降ユニットを単体で使用する場合に、アンカーにより部屋の壁面に固定できないときに使用します。



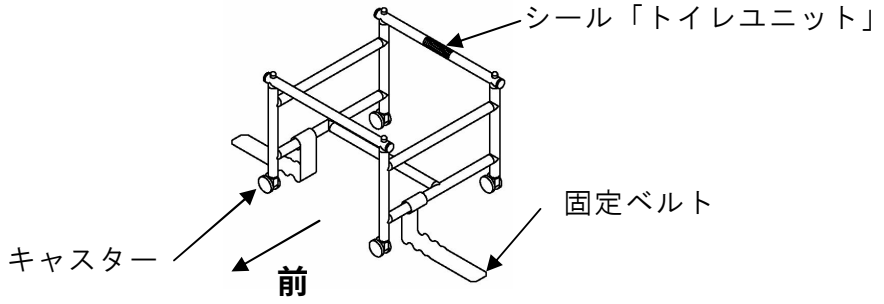
- **ワゴンA(AD-125)**

　洗面ユニットを使用しないときに収納、移動するためのワゴンです。



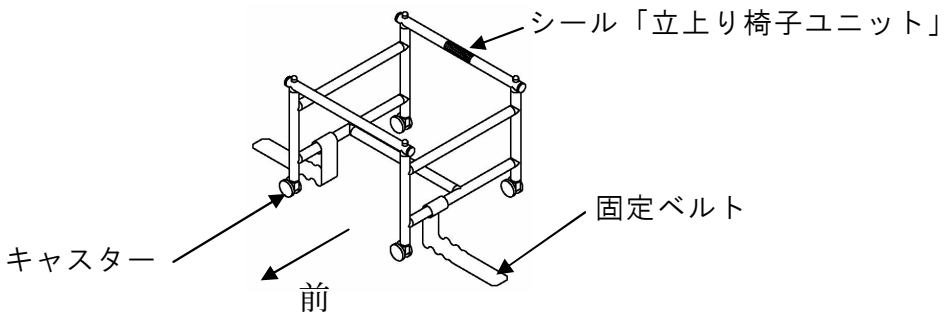
- **ワゴンB(AD-135)**

　トイレユニットを使用しないときに収納、移動するためのワゴンです。



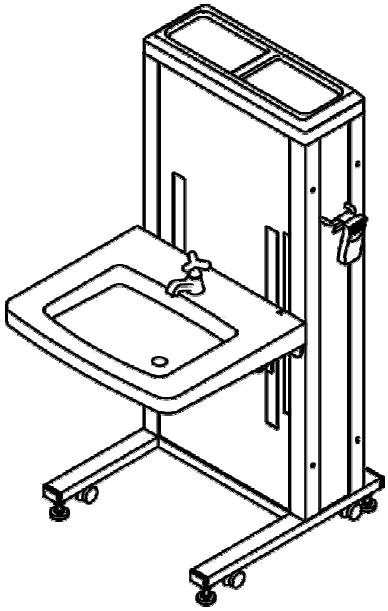
- **ワゴンC(AD-145)**

　立上り椅子ユニットを使用しないときに収納、移動するためのワゴンです。

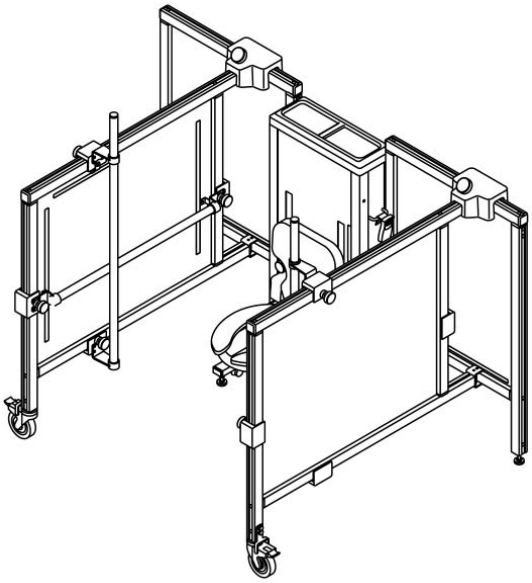


〈ユニットの組み合せ例〉

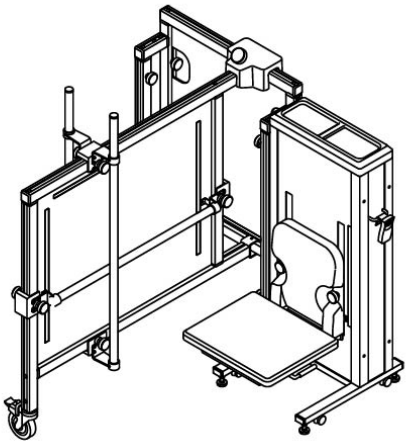
トレーニングの目的に合わせ、様々な組み合せができます。



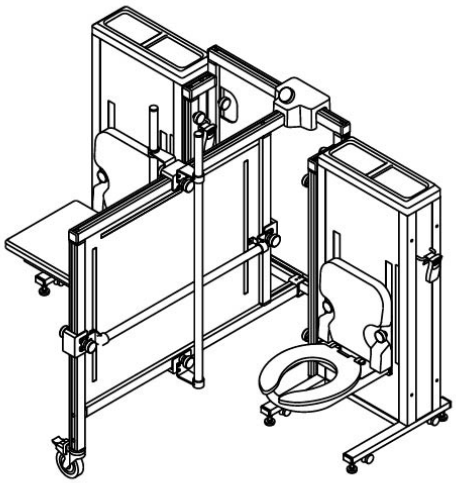
AD-100＆AD-120



AD-100＆AD-110L,R
＆AD-300



AD-100＆AD-110U＆AD-140



AD-100×2＆AD-110U
＆AD-130＆AD-140

ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.27 の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

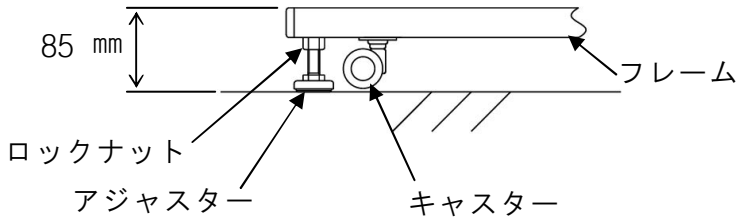
移動・設置(自立用金具を使用した場合)

本製品は、部屋の壁にアンカーを施工し、固定しての使用をお勧めしていますが、自立用金具(AD-105)を取り付けることにより、部屋の中央等、壁に面していない場所でも使用することができます。(自立用金具の取り付けはサービスマンが行います)

① 本製品を移動するときは、本製品と自立用金具のアジャスターのロックナットをゆるめ、キャスターが地面に着くようにアジャスターを引っ込めてください。

② 所定の位置に据え付ける場合は、フレームの上面が床より 85 ㎜の高さで、水平になるように本体のアジャスターを調節し、最後にロックナットを締めてください。昇降ユニット前面のスケールの数値が、床面からの高さとなります。(アジャスターの高さを合わせないと、正しくスケールを読むことができません)

③ 次に自立用金具のアジャスターを床面に触れる程度に伸ばし、本体と同様にロックナットを締めてください。



⚠ 警告 サービスマン以外は、アンカーの施工、取り外し作業を行わない

転倒等の事故の恐れがあります。

⚠ 注意
- **部屋の中央で使用する(アンカーの施工をしていない)場合は注意**
- **移動は、ゆっくり行う**
- **床に勾配のある場所では使用しない**
- **昇降ユニットの移動後は、必ずアジャスターを調節し、固定する**
- **本体を支えるときは、必ず本体の４つのアジャスターを使用する**
- **昇降ユニットに寄りかかったり、倒れこんだりしない**

電源

本製品を使用するときは、AC100V アース付コンセントに電源プラグをしっかりと差し込んでください。リモコンスイッチのパイロットランプが点灯します。使用後は、安全のため電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

⚠ 警告 ・電源コード及び、プラグの改造等は、絶対に行わない
・ぬれた手でプラグの抜き差しはしない

⚠ 注意 ・電源電圧はAC100V±5%の範囲内で使用する
・電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く

壁面ユニットＬ，Ｒの取り付け

1　昇降ユニットへの固定

使用を開始する前に、壁面ユニットを固定しているボルトが緩んでいたり、外れていたりしないことを確認してください。

2　可動部分の固定について

使用を開始する前に、可動壁面はキャスターブレーキと可動壁面固定ノブで確実に固定し、手すりは両端の手すり固定ノブで確実に固定してください。

⚠ 注意 ・可動壁面や手すりが確実に固定されていることを確認
・手摺や可動壁面の動き及びその固定時に異常がある場合は絶対に使用しない
・壁面に寄りかかったり、手すりにぶら下がらない

壁面ユニットUの取り付け

1　昇降ユニットへの固定

　使用を開始する前に、壁面ユニットUを昇降ユニットの右または左に 4 か所の昇降ユニット取付ノブで確実に固定してください。

2　可動部分の固定について

　使用を開始する前に、キャスターガイドで可動壁面のキャスターの回転を止めます。また、可動壁面はキャスターブレーキと可動壁面固定ノブで確実に固定し、手すりは両端の手すり固定ノブで確実に固定してください。

⚠ 警告　取付ノブ４か所で、確実に固定されていることを確認

昇降ユニットに固定されていないと、転倒や破損の恐れがあります。

⚠ 注意
- **可動壁面や手すりが確実に固定されていることを確認**
- **可動壁面のキャスターが、キャスターガイドで確実に固定されていることを確認**
- **手摺や可動壁面の動き及びその固定時に異常がある場合は絶対に使用しない**
- **壁面に寄りかかったり、手すりにぶら下がらない**

参考　壁面ユニットを取り付ける昇降ユニットのネジ穴部分は、お買い上げときには目隠しのキャップがついています。
これを取り外すときは、ガムテープ等粘着性の強いものをキャップの頭部につけて、左に回すと簡単に取り外せます。

操作方法

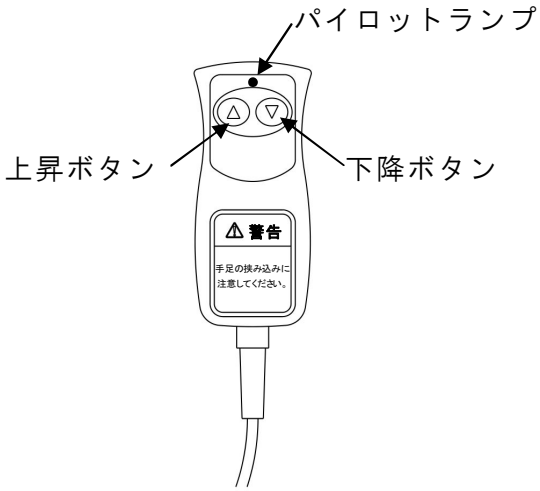
昇降ユニットの操作

1　昇降動作(リモコンスイッチ)

　昇降板を上昇させる場合は左側の上昇スイッチを、下降させる場合は右側の下降スイッチ を押します。

　上限(床面からのアタッチメント固定ネジ穴の高さが 250 ㎝)または下限(同 50 ㎝)で自動的に停止します。

　中間で停止させる場合はスイッチから手を離すと自動的に停止します。



⚠ 警告　患者が便座や椅子に着座した状態で操作しない

転倒してけがをする恐れがあります。

⚠ 注意　・昇降の前に、周囲に障害物がないことを確認

・昇降の切換は、必ず動作が停止したことを確認してから行う

・リモコンを落としたり水を掛けたりしない

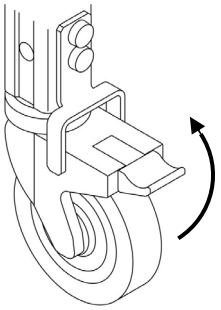
2　スケール

　評価測定のための、床からの高さを表すスケールが貼ってあるので、アタッチメントの高さが一目でわかるようになっています。

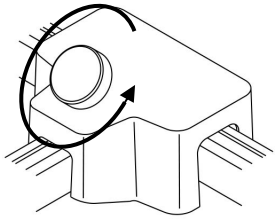
壁面ユニットＬ，Ｒの操作

1　可動壁面の移動

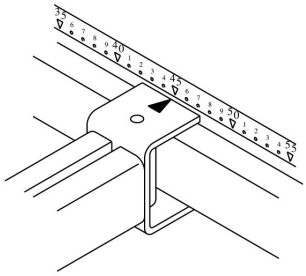
① 可動壁面のキャスターブレーキを上げてロックを解除します。



② 可動壁面固定ノブを回してロックを解除します。



③ 可動壁面を目的の場所まで移動します。
可動壁面の付根の矢印が指すスケールの数値は、昇降ユニット中心から可動壁面の内側までの距離となっています。

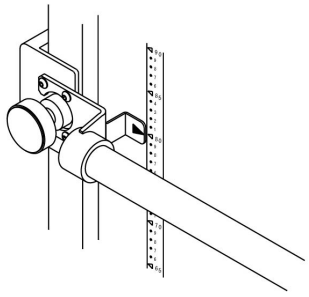


④ 目的の位置まで移動したら、可動壁面固定ノブをしっかりと締め、キャスターをロックします。

⚠注意　・移動の前に、必ず壁面の移動方向や周囲に障害物がないことを確認
・可動壁面固定ノブとキャスターのロックを確認
・可動壁面固定ノブを緩める際に無理に回しすぎない

参考　可動壁面の移動は、壁面の先端より、根元の近くを持って移動すると楽に移動することができます。

2　手すりの移動



① 手すり本体を片手で支え、両端の手すり固定ノブを片方ずつ緩めてください。

② 手すりを目的の場所まで移動します。
横手すりの付根の矢印が指すスケールの数値は床面からの高さを、縦手すりはトイレユニットと立上り椅子ユニットの座面先端からの距離を示します。

③ 目的の位置まで移動したら、手すり固定ノブをしっかりと締め、確実に固定してください。

⚠注意　・横手すりの手すり固定ノブを緩めるときは、必ず手すりを支える
・手すりが確実に固定されていることを確認
・手すりにぶら下がらない
・手すり固定ノブを緩める際に無理に回しすぎない

参考　手すりや壁面の動きが悪くなってきたときは、アルミの支柱の部分に、油脂などの潤滑材を薄く塗布してください。

壁面ユニットUの操作

1　本体の移動

① 可動壁面をセンター位置に移動し可動壁面固定ノブで固定します。＜図①＞

② キャスターガイドのツマミ2か所を緩め、キャスターガイドを上に持ち上げて再びツマミで固定し、可動壁面のキャスターが回転できるようにします。＜図②＞

③ キャスターブレーキをあげてロックを解除します。＜図②＞

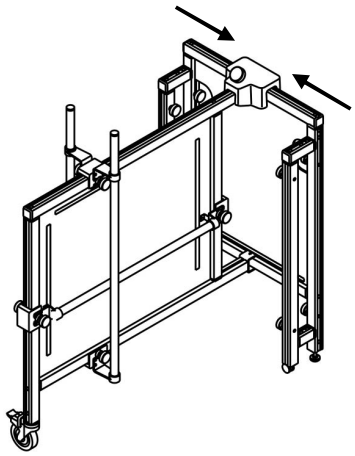
④ 昇降ユニット取付ノブを全てゆるめ、壁面ユニットUと昇降ユニットを分離します。

⑤ 固定壁面のアジャスターのロックナットをゆるめ、キャスター(小)が地面に着くようにアジャスターを床から15㎜程度引き込めます。
＜図③＞

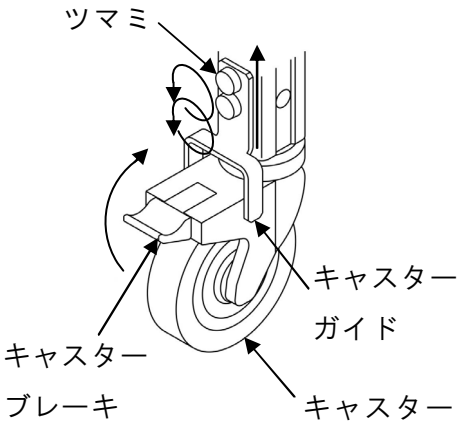
⑥ 壁面ユニットUを昇降ユニットの反対側のサイドに移動します。

⑦ 昇降ユニットの取付穴と壁面ユニットUの昇降ユニット取付ノブの位置が合うようにアジャスターを調整してロックナットで固定します。
固定壁面の支柱の下端の床面からの高さが55㎜になる程度が目安です。
＜図③＞

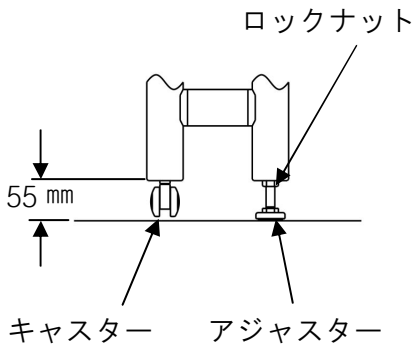
⑧ 昇降ユニット取付ノブにより、壁面ユニットUと昇降ユニットを確実に固定します。



＜図①＞



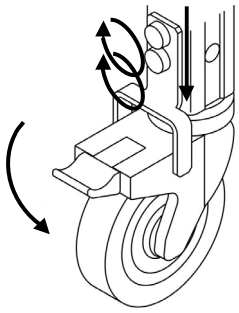
＜図②＞



＜図③＞

⑨ キャスターガイドの間にキャスターが固定されるように、ガイドを下げてツマミ2か所で固定し、可動壁面のキャスターの方向を固定します。＜図④＞

⑩ キャスターブレーキを下げてロックします。



＜図④＞

⚠ 警告 ・取付ノブ４か所で、確実に固定されていることを確認

昇降ユニットに固定されていないと、転倒や破損の恐れがあります。

・取付後、アジャスターは必ずロックナットで固定

固定されていないと、ユニットが動いてしまう恐れがあります。

⚠ 注意 ・可動壁面固定ノブで確実に固定されていることを確認

・移動の前に、必ず壁面の移動方向や周囲に障害物がないことを確認

・移動は、ゆっくり行う

・必ずアジャスターで穴位置を合わせてから昇降ユニットへ取り付ける

2　可動壁面の移動

操作方法及び注意事項は、壁面ユニットL，Rと同じです。P.16「1 可動壁面の移動」をご参照ください。

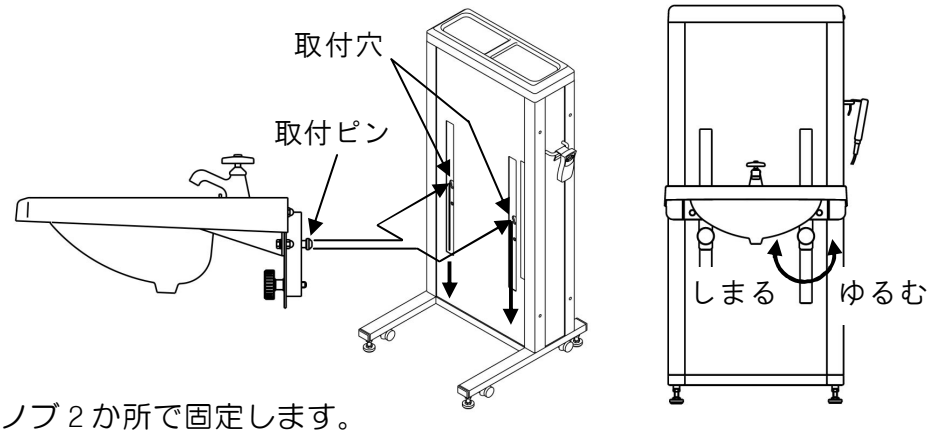
3　手すりの移動

操作方法及び注意事項は、壁面ユニットL，Rと同じです。P.17「2 手すりの移動」をご参照ください。なお、壁面ユニットUには、表裏両面に手すりの固定ノブがついていますが、手すりを動かすときは全てのノブを緩め、固定するときは必ず手すりの両端の、同じ面のノブ 2 か所で固定されていることを確認してください。

洗面ユニットの脱着と操作

1　昇降ユニットへの取付

① 洗面ユニットの取付ピンを昇降ユニットの取付穴に差し込み、引っ掛けます。
確実に引っ掛かっていることを確認してください。



② 固定ノブ 2 か所で固定します。

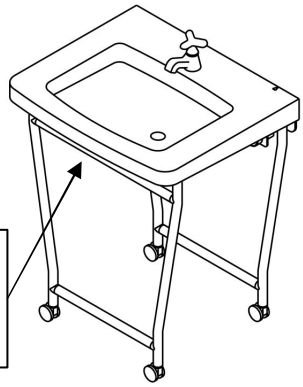
2　取り外し

固定ノブを 2 か所とも緩め、昇降ユニットから引き抜いてから洗面ユニットを若干持ち上げ、ピンを昇降ユニットの取付穴から引き抜きます。

⚠ 注意　・取り付け・取り外しや運搬時の取り扱いに注意
・ユニットの取り付けが確実か確認

3　ワゴンＡへの搭載

洗面ユニットをワゴンＡに載せるときは、ワゴンの前後の向きに注意し、安定した状態で載るようにしてください。＜右図＞



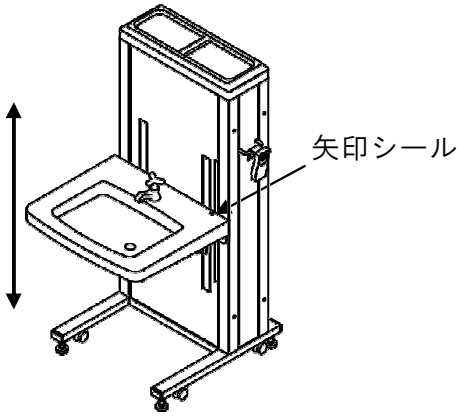
⚠ 注意　・ワゴンに載せるときは、ワゴンの前後の向きに注意
・ワゴンに載せたときは、ガタの無い安定した状態か確認
・洗面ユニットをワゴンに載せた状態で使用しない
・ワゴンを移動させるときはゆっくり行う
・ワゴンを置く場所に注意
・洗面ユニットが載っている状態でワゴンを持ち上げたり傾けたりしない

4　洗面ユニットの昇降操作

① 昇降ユニットのリモコンスイッチを操作して、洗面ユニットの高さをトレーニングに最適な高さに調節してください。

② 矢印シールの指す昇降ユニットのスケールの数字が、洗面器上面の床面からの高さとなります。

③ 昇降の範囲は、洗面器の上面の床面からの高さで、650 ㎜～850 ㎜です。



⚠注意　・洗面器によりかかったり、10kg 以上の力をかけない
・昇降の前に、周囲に障害物がないことを確認
・昇降の切換は、必ず動作が停止したことを確認してから行う
・洗面器に水や湯をいれない

5　シングルレバーの取り付け

水栓のハンドルを握ることのできない方には、付属のシングルレバーに交換して使用することができます。

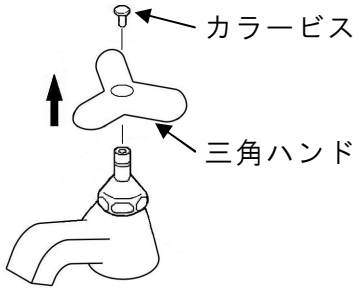
① プラスドライバーとカラービスがつかめる工具（プライヤー、ペンチなど）を用意してください。

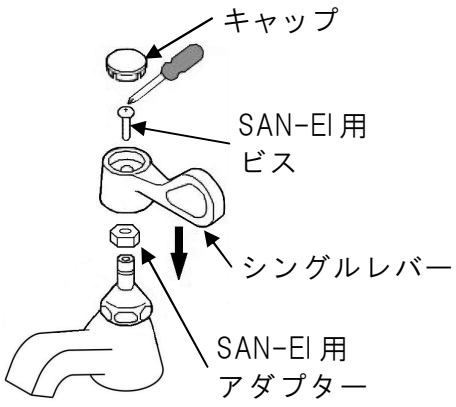
② カラービスをゆるめ、三角ハンドルを取り外します。

③ 付属の SAN−EI 用アダプター（白）を入れてシングルレバーに交換し、SAN−EI 用ビスで留めます。

④ シングルレバーにキャップをはめて完了です。

※ 詳しくはシングルレバーのパッケージ裏面をご覧ください。

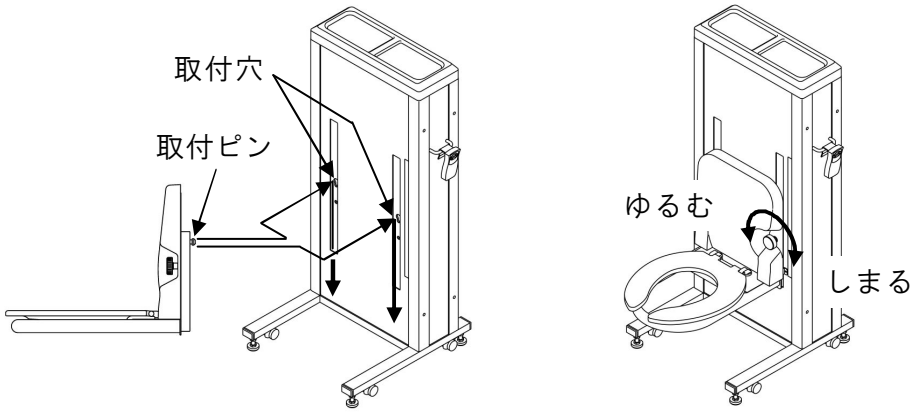




トイレユニットの脱着と操作

1　昇降ユニットへの取付

① トイレユニットの取付ピンを昇降ユニットの取付穴に差し込み、引っ掛けます。
確実に引っ掛かっていることを確認してください。



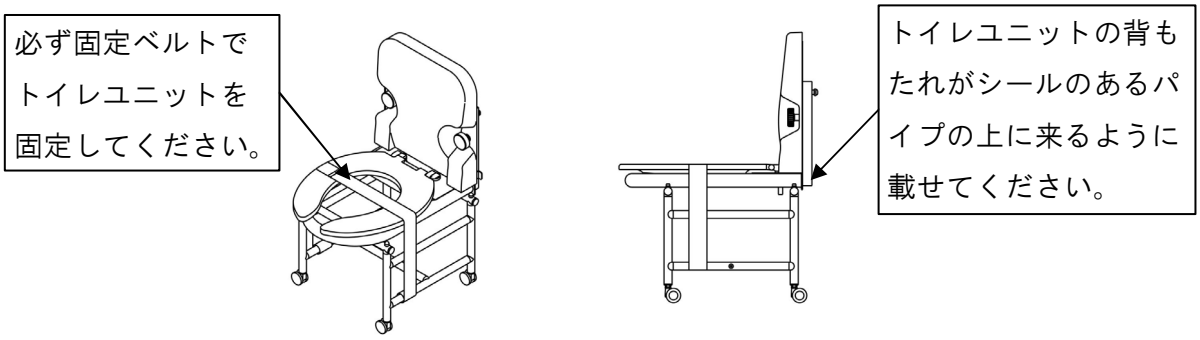
② 固定ノブ 2 か所で固定します。

2　取り外し

固定ノブを 2 か所とも緩め、昇降ユニットから引き抜いてからトイレユニットを若干持ち上げ、ピンを昇降ユニットの取付穴から引き抜きます。

⚠ 注意　・取り付け・取り外しや運搬時の取り扱いに注意
・ユニットの取り付けが確実か確認

3　ワゴンＢへの搭載



トイレユニットをワゴンＢに載せるときは、ワゴンの前後の向きに注意し、安定した状態で載るようにしてください。＜上図＞

⚠警告　・ワゴンや載せたトイレユニットに乗ったり重量物を載せない

転倒してけがをする恐れがあります。

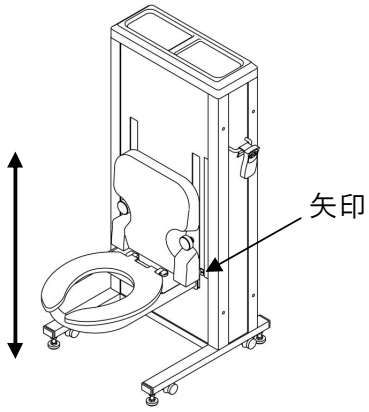
⚠注意　・トイレユニットをワゴンに載せたときは、必ず固定ベルトで固定
・ワゴンを移動させるときはゆっくり行う
・ワゴンを置く場所に注意
・トイレユニットが載っている状態でワゴンを持ち上げたり傾けたりしない
・ワゴンを間違えないように注意

4　トイレユニットの昇降操作

① 昇降ユニットのリモコンスイッチを操作して、便座の高さをトレーニングに最適な高さに調節してください。

② 矢印の指す昇降ユニットのスケールの数値は、座面の床面からの高さとなります。

③ 昇降の範囲は、座面の床面からの高さで、370 ㎜～570 ㎜です。



⚠警告　患者が便座に着座した状態で操作しない

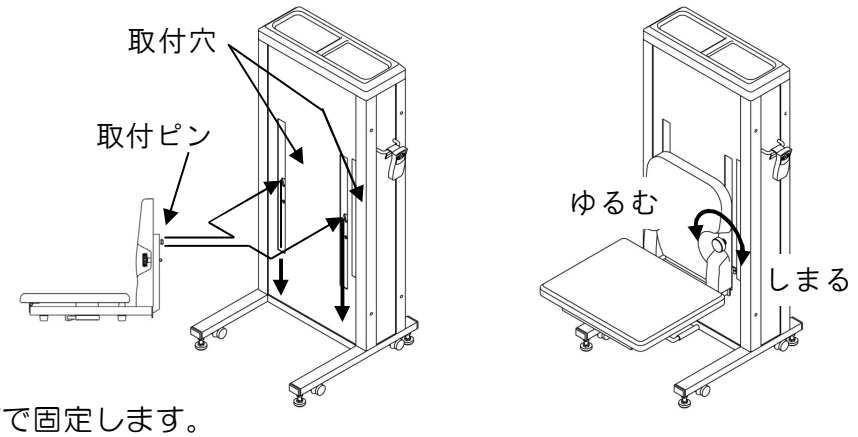
転倒や挟み込みなどの恐れがあります。

⚠注意　・便座の上に立ち上がったり、100kg 以上のものを載せない
・昇降の前に、周囲に障害物がないことを確認
・昇降の切換は、必ず動作が停止したことを確認してから行う

立上り椅子ユニットの脱着と操作

1　昇降ユニットへの取付

① 立上り椅子ユニットの取付ピンを昇降ユニットの取付穴に差し込み、引っ掛けます。確実に引っ掛かっていることを確認してください。



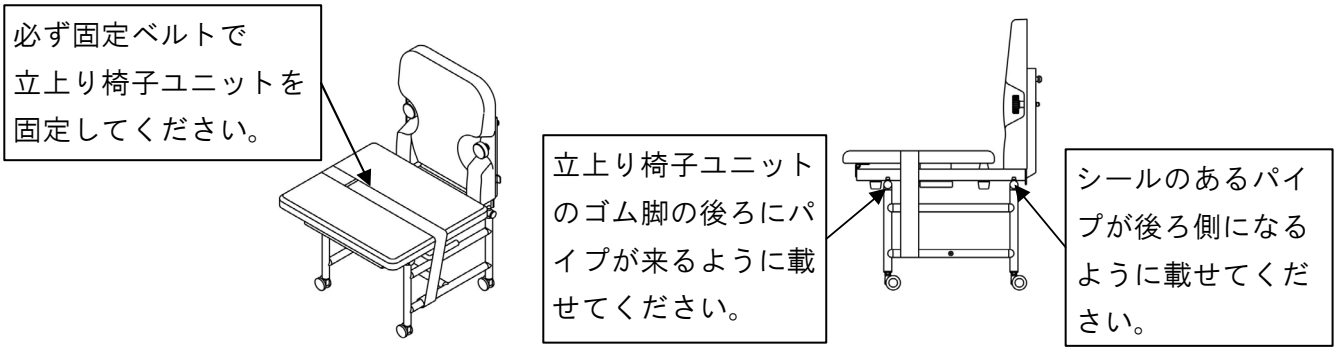
② 固定ノブで固定します。

2　取り外し

固定ノブを緩め、昇降ユニットから引き抜いてから立上り椅子ユニットを若干持ち上げ、ピンを昇降ユニットの取付穴から引き抜きます。

⚠ 注意　・取り付け・取り外しや運搬時の取り扱いに注意
・ユニットの取り付けが確実か確認

3　ワゴンCへの搭載



立上り椅子ユニットをワゴンCに載せるときは、ワゴンの前後の向きに注意し、安定した状態で載るようにしてください。＜上図＞

⚠ 警告　・ワゴンや載せた立上り椅子ユニットに乗ったり重量物を載せない
転倒してけがをする恐れがあります。

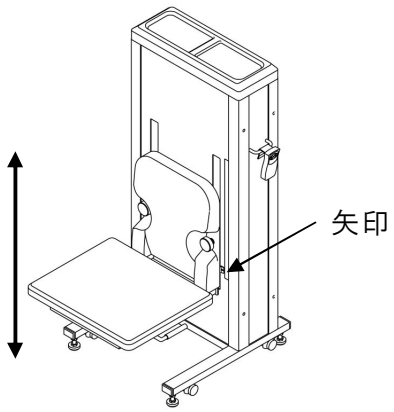
⚠注意　・立上り椅子ユニットをワゴンに載せたときは、必ず固定ベルトで固定
・ワゴンを移動させるときはゆっくり行う
・ワゴンを置く場所に注意
・立上り椅子ユニットが載っている状態でワゴンを持ち上げたり傾けたりしない
・ワゴンを間違えないように注意

4　立上り椅子ユニットの昇降操作

① 昇降ユニットのリモコンスイッチを操作して、立上り椅子ユニットの高さをトレーニングに最適な高さに調節してください。

② 矢印の指す昇降ユニットのスケールの数値は、座面の床面からの高さとなります。

③ 昇降の範囲は、座面の床面からの高さで、370 ㎜～570 ㎜です。



⚠警告　患者が座面に着座した状態で操作しない
転倒や挟み込みなどの恐れがあります。

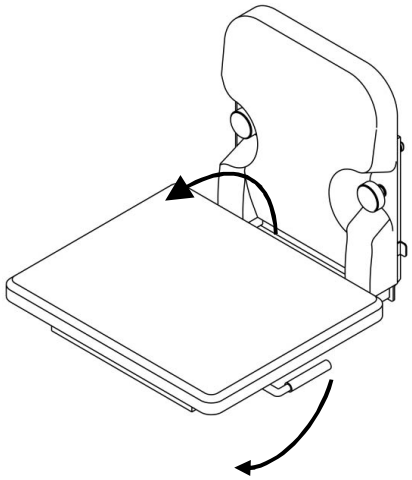
⚠注意　・椅子の上に立ち上がったり、100kg 以上のものを載せない
・昇降の前に、周囲に障害物がないことを確認
・昇降の切換は、必ず動作が停止したことを確認してから行う

5　座面角度の調整

患者の身体レベルに合わせて、座面の角度を 0°,10°,20° の 3 段階に調整することができます。

① 右手で座面下の座面角度調整レバーを押し下げ、同時に左手で座面を起こしてください。

② 座面角度調整レバーを離すと所定の角度でロックがかかります。患者に適した角度でレバーを離してください。



⚠注意　・座面角度調整レバーを押し下げるときは必ず座面を支えて行う
・座る前に必ず、ロックを確認
・座面角度調整レバーを無理に押したり引いたりしない

お手入れの仕方

- 普段のお手入れは、汚れがついたときは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を浸した柔らかい布で拭き取り、その後水拭きして、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 手すりや壁面の動きが悪くなってきたときは、アルミの支柱の部分に、油脂などの潤滑剤を薄く塗布してください。

⚠ 注意　・クレンザー等の磨き粉を含んだ洗剤やナイロンタワシ等は使用しない
・シンナー，ベンジンなどで拭かない

このようなときには

症　状	原　因	対　策
スイッチを操作しても昇降板が昇降しない	電源が入っていない	電源プラグをコンセントに入れてください
	電気回路のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください
昇降中に変な音がする	駆動装置のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください

- その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
- ご使用中、万一故障が発生したら、ただちに使用を中止してください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	本体の安定性	水平な面に置かれ、安定していることを確認
	部品のはずれ・がたつき、取付ねじの緩み・脱落	目視 または、スパナ等による確認
	部品の汚れ、損傷など	目視
機能	各調節部の固定	確実に固定できることを確認
	リモコンスイッチの動作（電源コードを接続して）	ボタン機能が正常であることを確認
	昇降の動作	動きがスムーズで異音などないことを確認

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

● 保証書と保証期間

- 保証書(別添)はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

● 修理を依頼される場合

- 修理を依頼される時は、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*AD-100*
  お買い上げ年月：　　年　　月
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決して開けたり分解しないでください。

● 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

● 損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

  キャスター

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

● 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

昇降ユニット(AD-100)

外形寸法（L×W×H）		580×525×1190 ㎜
質量		50 ㎏
駆動方式		電動アクチュエーター
電源		単相 100V 50/60 Hz 15A
電源入力		65VA
ストローク		200 ㎜
材質	フレーム	スチール＋紛体塗装
	支　柱	アルミ＋アルマイト
	上部カバー	プラスチック
	側面カバー	ラワン合板
	昇降部	スチール＋クロメート
	昇降板	ステンレス
（　プシ　ン） 自立用金具 A -105	外　寸法(L×W×H)	210×40×25 ㎜(×2　)
	質量	0 7 ㎏
	材質	スチール＋紛体塗装

壁面ユニットL，R(AD-110L,R)

外形寸法（L×W×H）		1420×780×1510 ㎜
質量		66 ㎏
ストローク	壁面	550 ㎜
	手すり(縦)	425 ㎜
	手すり(横)	650 ㎜
スライド機構		プラスチック製ローラー
可動壁面固定方法		固定用ノブ＋ブレーキ付キャスター
手すり固定方法		固定用ノブ
材質	フレーム	アルミ＋アルマイト
	壁面板	ラワン合板
	手すり	ステンレス＋紛体塗装
	壁面スライド機構フレーム	スチール＋クロメート
	手すりスライド機構カバー	プラスチック
	手すりスライド機構	スチール＋紛体塗装

壁面ユニットU(AD-110U)

外形寸法（L×W×H）			1420×780×1510 mm
質量			77 kg
ストローク	壁面		550 mm
	手すり(縦)		425 mm
	手すり(横)		650 mm
スライド機構			プラスチック製ローラー
可動壁面固定方法			固定用ノブ＋ブレーキ付キャスター
手すり固定方法			固定用ノブ
移動方法			キャスター
設置方法			固定用ノブ
材質	フレーム		アルミ＋アルマイト
	壁面板		ラワン合板
	手すり		ステンレス＋紛体塗装
	壁面スライド機構フレーム		スチール＋クロメート
	手すりスライド機構カバー		プラスチック
	手すりスライド機構		スチール＋紛体塗装

洗面ユニット(AD-120)

外形寸法（L×W×H）			500×550×270 mm
質量			4 kg
昇降範囲			650 mm～850 mm
許容荷重			10 kg
材質	フレーム		スチール+紛体塗装
	洗面器		R 製
	立水栓		IS 認 品
	シングルレバー		プラスチック
(プシ ン)ワゴン A -125	外 寸法(L×W×H)		375×505×660 mm
	質量		3 kg
	材質	フレーム	スチール＋紛体塗装
		キャスター	ナイロン

トイレユニット(AD-130)

外形寸法（Ｌ×Ｗ×Ｈ）			550×370×440 ㎜
質　量			7 ㎏
昇降範囲			370 ㎜～570 ㎜
許容荷重			100 ㎏
材質	フレーム		スチール+紛体塗装
	便座		ＴＯＴＯ製 ＴＣ1Ｒ＃ＳＲ２
	背もたれ		プラスチック
（　プシ　ン） ワゴン Ａ -135	外　寸法(Ｌ×Ｗ×Ｈ)		375×390×320 ㎜
	質量		3 ㎏
	材質	フレーム	スチール＋紛体塗装
		キャスター	ナイロン

立上り椅子ユニット(AD-140)

外形寸法（Ｌ×Ｗ×Ｈ）			550×500×475 ㎜
質　量			9 ㎏
昇降範囲			370 ㎜～570 ㎜
角度調節			0 10 20 三段　ラチ　ット方式
許容荷重			100 ㎏
材質	フレーム		スチール+紛体塗装
	座面マット		合板＋ス　ンジ＋レ　ー
	背もたれ		プラスチック
	角度調節機構		ステンレス
（　プシ　ン） ワゴンＣ Ａ -145	外　寸法(Ｌ×Ｗ×Ｈ)		375×390×305 ㎜
	質量		3 ㎏
	材質	フレーム	スチール＋紛体塗装
		キャスター	ナイロン